

教育プログラム・コースの概要

大学名等	近畿大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	下部消化管腫瘍外科専門医養成コース						
対象職種・分野	医学研究科医学系専攻大学院生						
修業年限(期間)	4年						
養成すべき人材像	高い臨床力と研究能力を併せ持つ外科医を養成する。先端の外科技術の修練や、下部消化管癌、特に大腸癌の病態解明と新規治療開発を目指す研究を行う。学位取得と消化器外科専門医・がん治療認定医の取得を目指し、リサーチマインドを兼ね備えた下部消化管癌に対するスペシャリストを養成する。						
修了要件・履修方法	必修科目24単位以上、選択科目6単位以上、合計30単位以上を履修し、英語原著論文を書くこと。						
履修科目等	<必修科目> 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(2単位)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(2単位)、外科解剖学講義(2単位)、外科侵襲学講義(2単位)、下部消化管腫瘍学講義(2単位)、腫瘍外科学実習Ⅰ(4単位)、腫瘍外科学実習Ⅱ(4単位)、低侵襲外科学講義(2単位)、医療統計学講義(2単位)、がんサージカルボード実習(2単位) <選択科目> 臨床腫瘍学特論(1単位)、臨床腫瘍学演習Ⅱ(2単位)、放射線腫瘍学演習(2単位)がん緩和医療演習(2単位)、SPを用いた職種横断的臨床課題演習(1単位)、職種横断的ケーススタディ演習(1単位)、臨床腫瘍学演習Ⅰ(2単位)						
がんに関する専門資格との連携	消化器外科専門医(日本消化器外科学会)の専門医制度指定修練施設(認定施設)として認定。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	外科治療を行う上で、ゲノム医療も視野においた下部消化管癌の病態研究による基礎知識修得および臨床の修練を行う。						
指導体制	外科指導医、消化器外科指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医による臨床手技指導。腫瘍内科学教室と協力することで下部消化管癌、主に大腸癌領域での分子腫瘍学の理解を深められるよう教育体制をとっている。						
修了者の進路キャリアパス	外科専門医および消化器外科専門医の取得。臨床手技力およびリサーチマインドを兼ね備えた次世代医療に対応する外科医として、地域のがん拠点病院等の地域医療の基幹病院におけるがん治療および大学病院等でのがん治療や研究における活躍が期待される。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数5人と設定。						